

第3回（1月） 会議録（主な意見）

- 単に地域分析シートが独立しているのではなくて、企画シートと連動しているように、地域シートにあるSTEP1～4が、企画シートのどの項目に位置づけられるのかわかるとよい。
- シートは事業記録、引継資料として活用できる。また、地域分析シートには、「ヒト」「モノ」「コト」を記載できるので、それを参考に、新しい年度の計画に、新しい事業に取り組んでもらえるのではないかと。他団体の連携が一番大切だと思うので、他団体同士の連携をもとにこのシートで、地域を見直したら「こんなこともあった。」「これはみんなの団体でできる事業やね。」「新しい年度も取り組んでみたらいいね。」っていう、何かそのような新しいことに取り組めるのではないかと。
- 様々な年齢の方がこのシートに関わると、まずこの地域分析シートでも、新たな気づきがあるのではないかと。学校では、地域学習をしていて、このSDGsの関連で将来の自分の地域について考える学習が多く、学校で行われている。この事業、この分析シートを使った地域づくりに何らかの形で学校も関わって行けたらいい。
- このシートを一気に正式なものとするのではなく、出前講座なんかも含めて、どう、皆さんにやってもらうか、いかに書きやすく、そして見やすくしていくかという改善策が、多分いっぺんやってくることによってできると思う。地域ごとに分けて、モデル的にやってみる。そして、改善策もまた見つけていく、そして、よりよいものにしていくというような、流れがあってもよい。
- 「このシートを作ること自体が、一つの事業です。」という話があった。例えば公民館運営審議会の方を巻き込んで、ワークショップ形式で年間何回かこのことについて集まる。そして、中間報告をPTA・学校運営協議会で周知するという場をつくるということもできるのではないかと。世代間の引継の機会にもなるのではないかと。
- 主体になる公民館とかまちづくり協議会から、このシートについて周知すれば、「参加する。」「意見を言う。」、そういったことで協力はできる。活動の記録として、残していくにあたってとてもいいシートである。そういった依頼があれば協力は惜しまない。